

新潟県

公民館月報 5

平成14年5月号 通巻第591号



表紙 豊浦町総合運動施設
(豊浦町公民館)

特集 新任職員のための公民館ガイド

視 点 IT時代の新しい形の図書館をめざして

ひろば 拓本の採る人々

実践記録シリーズ 冬季自主婦人学級の開催

サークル交流 三松会燕(燕市中央公民館)

能生町ふるさと学習サークル(能生町公民館)

素顔拝見 吉田宏司さん(上越市)

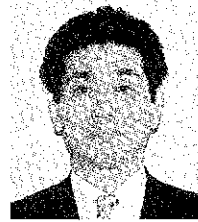
南雲愛子さん(湯沢町)



前理事
高橋芳之

1、自己都合による
2、第2回新潟県生涯学習フェスティバル(村上市岩船地区開催)・各種講座学級・長寿大学・国際交流等の事業を通して多く

の人々との出会いの中で学び、豊かさを実感できました。
3、明るい職場環境で、魅力ある公民館活動の更なる発展をこ期待いたします。
それでは、本年八月二十九日(三十日豊浦町月岡で開催の、第43回関東甲信越静公民館研究大会の盛会を、心より御祈念致します。



前理事
大野広栄

1、定期異動 五泉市農林課長
2、二年と短い期間でしたが、各種学級・講座や芸術文化団体の事業を通じて、多くの方々と出会い、貴重な体験をするのと

もに、人集めの大変さを知りました。
3、時代のニーズに応じた事業の取組みと、初めてとなる五泉市生涯学習フェスティバルの成功を、そして、今年八月二十九日(三十日豊浦町月岡で開催の、第43回関東甲信越静公民館研究大会の成功を、心から祈念いたします。



前理事
倉石義行

1、定期異動、新井市企画財政課長
2、第43回関東甲信越静公民館研究大会の要項案の作成にあたり、議論を繰り返しながら最終

案が完成し、その作業に携わることができたこと。
3、公民館職員の皆さん、時代は一変しました。従来の成功パターンで今後も乗り切れると思つたら、それは間違いです。これまでのやり方を一度ぬぐいさつて、今起きている様々な環境変化に合うような方法・手法・職場組織を構築することが必要です。各種事業の成功を祈念。

今年も人事異動により五名の役員・委員の方々がご退任されることとなりました。ご退任に当たって左記の項目によりおことばをいただきました。
1. 異動内容・異動先等
2. 在任中、印象に残つた事業、事柄等
3. 退任に当たって贈ることは

今年的人事異動に伴う当会役員・委員

退任のことば

『県公連の一層のご発展を祈念』

ご多忙の中、ご寄稿いただきましたことご退任の方々の、第二の人生、または新しい所属職域での活躍、ご発展を祈念いたします。ありがとうございます。



前評議員
吉川和男

1、定期異動、水原町会計課長
2、五十周年記念大会の実行委員会事務局として、二市北蒲原郡公民館の各市町村職員の方々のご協力を得て成功裡で終

えたこと。公民館、生涯学習に携わって二十二年、多くの良き先輩同僚に出会い、各種様々な事業に取組みをしたこと。
3、完全学校週五日制がスタートし、より公民館活動が期待されると思われまますので努力して下さい。八月に行われます第43回関東甲信越静公民館研究大会の盛会と、県公連の御発展をお祈りいたします。



前編集委員
小林民弥

1、定期異動 小千谷市立山谷小学校長
2、顔も分からぬままに、電話でのお願ひ事に戸惑いを感じながらの仕事開始でした。また男

女共同参画、学習成果活用、まちづくりなど生涯学習の範囲の広さに、研修の視点をどこに置いかでも悩みはつきませんでした。しかし、それも様々な場面での市町村の方々の情報交換により充実した取組にすることができたことを喜んでいました。
3、地域の方を核に、公民館も学校も取組を進めましよう。

平成14年度関プロ公連協議会の開催

- 日時 平成14年5月30日(木)～31日(金)
- 会場 豊浦町月岡「ホテル華風」
- 参加 関プロ公連各都県会長、事務局長等
- 議題 (1)平成14年度事業計画(案)及び予算(案) (2)第43回関東甲信越静公民館研究大会 (3)平成14年度関プロ公連被表彰者の推薦 (4)全公連理事、プロック代表事務局長の選任等
- 人会会場視察 ○5月31日(金)、「ホテル泉慶・華風」の全体会場 分科会場の視察並びに研修視察会場の巡検等



視 点

十日町情
報館は、圏域6市町村でただ一つの図書館法に定める図書館として、平成11年10月開館。以来、広域的な図書館サービスを展開してきました。さらに、地域情報の

が、相次いで視察に訪れてくださいました。当館には、一般に公開しているインターネット端末が10台あり、利用登録カードを提示して、1回30分ま

市のホームページでの運営やコンピュータ研修事業にも取り組んでいます。こんなユニークな活動が県内外に知れわたったのか、遠くは九州方面からも図書館、行政関係者の多く

小林 宏行

IT時代の新しい形の図書館をめざして

で無料で体験できます。13年度は延べ2万5,058人の利用があったところ。公立図書館でも、図書資料等では調べられない問題に対応するため、インターネットを導入

第1回上越公民館連絡協議会 理事会開催される!!

・日時 平14・4・23(火) 13:30~
・会場 上越市立公民館高田地区館

- 会議内容
議題①平成13年度事業実施報告
②平成13年度歳入歳出決算
③平成14年度事業計画(案)
④平成14年度歳入歳出予算(案)
⑤第43回関東甲信越静公民館研究大会における分科会の上越地域担当市町村の事例発表者等の選出等
○県公連より今井会長、鈴木事務局長が出席、関プロ大会への協力要請がなされた。

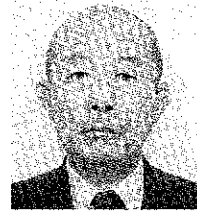
二市北蒲原郡公民館連合会 平成14年度総会開催される

・日時 平14・4・25(木) 16:00~
・会場 新発田市「豊谷殿」

- 会議内容
議題
①平成13年度事業報告及び決算について
②同会計監査報告について
③平成14年度事業計画(案)及び予算(案)について
④その他
○なお、県公連より今井会長、鈴木事務局長が出席し、第43回関東甲信越静公民館研究大会の輸送、会場整理等についての協力要請がなされた。

拓本の採る人々

鹿瀬町公民館運営審議会委員 今川 玄英



写真で
お察しのごとく本
業は禅寺
の住職で
ある。県
の東端、福島県と境を接する鹿瀬町の山奥の、そこそそ地岡にも載っていない小寺をあずかって二年程になる。

つい先頃、一本の電話が入った。「今度の土曜日、拓本を採りにお邪魔したいと思えますが、よろしいでしょうか」。どうぞ、である。寺の境内に、やはり住職をつとめた亡父が建てた石碑が二基ある。自作の詩、良寛の筆跡、或る俳人の句がそれぞれ刻まれている。

当日、朝九時頃に早くも一行七人到着。早速、道具を広げて採採を始めている。車で二時間程かかる県内K町の拓本研究会のメンバーとのことで、見たところ平均年齢五十代位。女性も二人いる。三基に七人が交互に取りつき、また互いに助け合っ

て皆一心不乱。声をかけるのも

採採に来たわけだと改めて納得した次第。

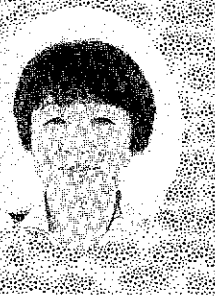
会発足のきっかけは、町の講習会か何かで手ほどきを受け、それが縁でハマった人たちが集まったと聞いたが、公民館関係だったかどうかは残念ながら聞き漏らした。

公民館運営審議会委員を仰せつかって一年。催し物や講座等に御意見をといわれても費用や反応にとらわれ、つい悲観的になりがちだが、もし前述のようなグループの種をまくことが出来たとしたら、もって快とすべしではないだろうか。

ひ る ば

公民館ガイド

梶 瑤 子



1、はじめに
 公民館に配属されたみなさん、「公民館」と聞いたときどんな感想をもたれたでしょうか。「講座を開いたり、人が集まってくる場所」「休みになると忙しそう」…。様々な想いと不安を抱きながら新しい職場に來られたでしょう。でも、安心してください。公民館というところは、仕事の仕方ではあなたをひと回りもふた回りも大きくしてくれる魅力あふれる職場です。

2、それでは「公民館ってどんなところ」かを探ってみましょう。

公民館の法的根拠は「社会教育法」です。自分の仕事がどんな法律を拠り所としているのか、一度読んでみてください。

第20条には、公民館の目的がこんなふうに書かれています。「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」つまり、地域の人たちの想い：「子育てにしたいなあ」「趣味活動をやってみたいなあ」など、様々な学習活動を具体的な形にしていこうお手伝いをしたり、地域住民のそうした学習をする権利を支えることが公民館の大きな目的です。

3、この目的を果たすために、公民館では次のような役割があると整理されています。

(1)つどい：「集会和活用」
 (2)まなび：「学習と創造」
 (3)むすび：「総合と調整」
 即ち、住民のみなさんへの学

びの場の提供、サークル・講座での学習活動の援助や学習情報の提供、人と人、人と機関、グループの連携調整等、活動の点と点を結ぶコーディネーターとしての役割があるのです。公民館の封筒のキャッチフレーズに「つどい・ふれあい・まなびあ」と印刷されているのを見かけることがあるでしょう。それは、公民館の役割をPRしていることなのです。また、住民のみなさんが公民館活動に参加すること、その地域の文化を創っていくことから「公民館は地域文化の活動拠点」ともいわれる所以です。

さて、目的と役割がはっきりしたところで、職員として何をどのように取り組めば良いのかを探ってみたいと思います。いうまでもなく公民館は、他の役所にはない特徴があります。それは直接住民の声を聞き、住民と共に創り出す仕事であるということです。勿論、教育行政の一端を担っているわけですが、お役所的な発想での仕事ではいけません。新人のみなさんは、焦らず、失敗を恐れず、何事にも情熱と好奇心を持って取り組むのが一番です。自分自身がワタワタ・ドキドキしながら、「すべての仕事は住民と共につくっていく」その気持ちを大

切にしてほしいのです。そのことがあなたを一回りも大きくする第一歩になると思います。

4、心構えここがポイント

・ポイント1/住民が主人公

公民館では、地域のみなさんに向けて様々な事業を企画しますが、一番大切にしなければならぬのは「住民は主人公・公民館は黒子」と学びの「仕掛け人」に徹することです。

・ポイント2/学習プログラムには視点を

なぜ、この事業をするのか、「事業のねらい」の明確化が大事です。が、差し当たり「学び」は「まねび」というように実践プログラム事例集等を見たり、先輩のやった仕事を参考にすることも一つの方法です。私の所属している「新潟県立生涯学習推進センター」では、県内外の社会教育に関する資料・報告書・講師情報等があります。それらも参考になると思いますのでいつでもご相談ください。また、事業立案に当たって気をつけてほしいことがいくつかあります。その事業の視点をしっかりと見据えたテーマ設定が必要です。

例えば、男女共同参画社会づくりにや家庭教育学級のプログラムには、必ず「ジェンダー」の視点をいれるなど、自分で意識すればできると思います。

・ポイント3/窓口から地域がみえる

公民館にはたくさんの人が訪れます。年齢も性別も目的も様々です。住民が窓口に見えた時こそがチャンスです。そのために事務室の「出入口」はいつもオープンにしておきましょう。つまり、公民館に入りやすい雰囲気づくりが大切です。職員がパソコンとにらめっこして

いるようでは困ります。そして、「あいさつ」と「声かけ」に心がけてください。「おはようございます」：「ご苦勞様」：「そしてお金のかからないあなたの「笑顔」です。

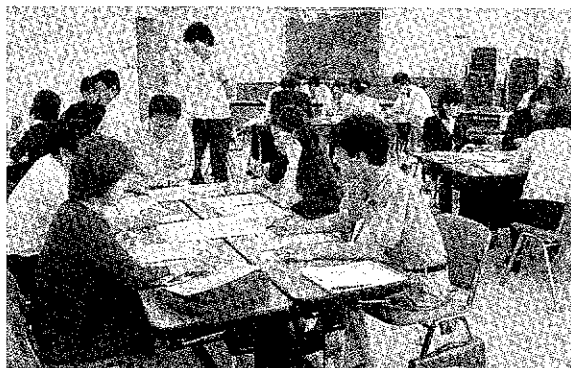
「地域の人材は黙っていたんじゃみつからない」、窓口での出会いが地域づくりのための「人材バンク」になるかも知れません。

・ポイント4/学習相談を大切に

「親子遊びのグループはありますか」と明確に訪ねる人もいますが、「文学の勉強でもしてみようかと思うんだけど」等といって来られる方もいます。こ



△新任職員研修会風景



△話し合いも活発に

特集

新任職員のための 新潟県立生涯学習推進センター 学習相談員

の「でも」に注意を払ってください。実は目的が友達作りの場合もあります。「友達がほしいんだけど…」といいにくい。多少興味のある「文学…」となるわけです。たとえ自分の公民館では開催予定がなくても「ありません」ではなく、他の機関を調べたり、他の講座やサークルを紹介したり、一言でも多く話すことで、本当は何を望んでいるかを聞き出し、その人にあった学習相談をしてください。公民館大好き人間誕生の第一歩です。



・ポイント5/情報収集は高いアンテナで

仕事をしていく上で、様々な情報が必要になってきます。行政の施策のこと、子どもたちの放課後の様子、完全学校週五日制への取組、地域の環境問題等。高いアンテナを張り巡らしましょう。公民館を利用しては様々なサークルは、学習の積み重ねがあり実践を伴った情報は確かなものです。その活動会場へ出向いて話を聞くことや、環境問題を地域で取り組んでいる団体があればその地域に出かけ、活動に加わってみるのも一つの好方法です。意外とひょんなところから、いろいろなアイデアや問題解決の糸口が見つかるものです。勿論本を読むことも大切ですし、インターネットを駆使することもこれからの時代には不可欠です。その他に私のお薦めは、「社会教育」「月刊公民館」等社会教育に関する機関誌の購読です。全国1万8千を数える公民館活動の事例等、とても参考になります。情報源が無数にある中でも、新鮮な

情報は人から人へと伝わるものです。公民館はまさに「生きた情報」の行き交う交差点でもあります。

・ポイント6/関係機関との連携

公民館を支えてくれる人々は多くいます。「公運審」や「利用者団体協議会」「体育指導委員」「PTA」など、様々な地域団体との関係はよくしておきましょう。それらの団体と連携することで仕事はどんどんふくらみます。特にこれからは学校との連携が必要とされています。各地には「学校支援ボランティア制度」が設置され、活用も始まりました。

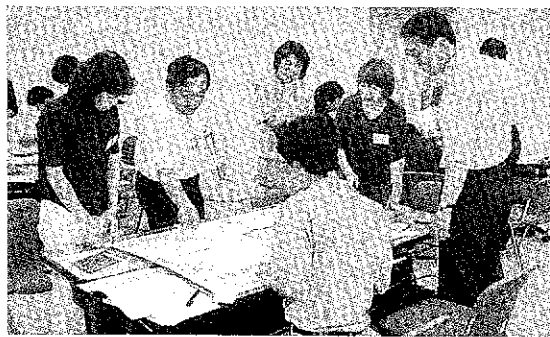
・ポイント7/研修を受け、仕事の質を高めよう

当センターでも毎年「生涯学習新任職員研修会」が開催されていますが、各市町村でも職員研修が何らかの形で実施されると思います。新しく配属された方は積極的に参加しましょう。研修から得るものもたくさんありますが、参加者同士の繋がりがこれからの仕事を進める上でとてもすてきな宝物にもなるのです。また、県内に活躍しているベテランの公民館職員との出会いもチャンスです。苦勞話か

らもヒントがみえるでしょう。

職員としての心構えのポイントをいくつかあげてみました。あなたが、公民館の仕事に熱意をもってすれば、その熱意が人から人へと伝わって、ネットワークの技がいろいろな方向に伸びていくと思います。同時に情報の量も質も高まって社会教育の大きな「樹」になることは間違いありません。コインと叩くと必ず「コイン」と響く。まさに生き物のようなものが公民館の仕事です。

そう考えると、公民館ってずいぶんおいしい仕事のような気がしませんか？



実践記録シリズ(56)

冬季自主婦人学級の開催

牧村教育委員会
社会教育指導員 梨本 りよ子



△閉講式(食事会)

◇はじめに
当村は上越市より山間部へ向かい、車で約20分の距離にあり、村奥地の牧峠は、古くから長野県飯山市と通じており、県内多数の豪雪地帯である。
村では、冬期間の農作業として細縄生産に取り組み、出荷量は全国でトップになっている。人口が三千人程の小さな村で

あるが、「自然がいい」「人柄がいい」「食べ物がおいしい」と感じてる人が多く、ゆったりとした時の流れの中で、村の伝統行事や失われてしまいがちな大切な心を受け継ぎながら、牧村らしく暮らそうとしている。

◇講座開講のねらいと経緯
活動のはじまりは古く、昭和45年に各集落に存在した婦人会が母体となり、25〜30グループでスタートした。当時はまだ、出稼ぎの盛んな時代で、家庭では「夫不在」の中、両親と共に暮らす妻(嫁)への支援という形で、女性の社会参加の促進と資質の向上を図ることを目的とし、30〜50歳代の主婦を対象に実施された。各集落の公会堂へ

公民館職員が出向き、16ミリ映画を見ての学習や、家計、健康、食生活、各趣味・手芸など多様な学習を、月二回を月安に行われた。
また、全体としての学習は、公民館へ集い、村の将来を語り合ったり、講演会の開催、他町村への視察研修、趣味と実益を兼ねての山菜加工、工芸細工などの実習が行われてきた。
村の支援としては、各グループの要請により職員が出向いて指導したり、地域の特産品開発の啓発と研修会の開催、少額の補助金(会場使用料程度)を支給している。

◇今後の在り方
村では、三人に一人が高齢者の割合になっており、高齢者の二人暮らしが年々増加している。
冬季婦人学級の対象者も50歳〜70歳代が多く、これまでは女性を対象に学習機会を設定してきたが、勤労の第一戦から退いた男性(マンパワー)をどのよう

に生かしていくかが今後の大きな課題といえる。
時代のニーズに合わせて参加、集落間の交流・情報交換など男女共生の道を探し、仲間づくりの輪を広げて、冬季学級を今後もさらに推進していきたい。
(※今年度参加19グループ)

平成13年度 冬季自主婦人学級参加グループ (期間:11月~3月)

No.	学級名	集落名	代表者	参加人数	学習目標	内容	回数
1	雪 湊	宮 口	堀田ヨキ子	6	楽しい仲間作り	生け花・体操・学習	7
2	ぜんまい座	山 口	金井 妙子	12	みんな仲良く	着付け・生け花	9
3	みのり学級	荒 井	中林 節子	10	元気で長生き	手芸・調理・運動	7
4	すずらん	小 川	金井エイ子	7	楽しい仲間作り	手芸・学習会	6
5	四ヶ葉グループ	榎 谷	渡辺 孝子	12	健康で明るく	手芸・学習会・調理	10
6	ろばた学級	雨 露	横尾 篤子	12	冬を楽しく過ごす	手芸・習字・映写	7
7	野いちご	高 尾	太田 廣子	10	仲間て学ぼう	折り紙・調理	4
8	千 鳥 会	棚広新田	岩崎 美好	5	楽しい仲間作り	手芸・料理	6
9	じんのび会	宇津俣	佐藤 英子	5	楽しい仲間作り	手芸・調理	6
10	野菊学級	公民館	西條 千代	6	楽しい仲間作り	粘土・押し花	10
11	すみれ会	岩 神	飯田 テル	15	仲間作り	樹脂粘土・手芸	8
12	さざんか	高 谷	金井 照子	13	仲間作り	手芸・体操・映写	7
13	福 寿 草	府 殿	米川 春子	8	仲間と楽しく	樹脂粘土・手芸	6
14	さくら学級	桜 滝	羽深ハツノ	10	仲間作り	生け花・調理	8
15	ひまわり会	東松ノ木	松野 良子	17	集落内の親睦	手芸・学習	8
16	どんぐり会	公民館	中林千代子	11	仲間て学ぶ	調理・学習	9
17	大倉学究	原	金井ウメ子	10	仲間作り	手芸・学習	6
18	あじさい	棚 広	吉田智恵子	5	仲間て学ぼう	手芸・学習会	7
19	クンヨン	公民館	折笠美智子	6	仲間て楽しく	洋裁・調理	6



△熱心な作業の様子

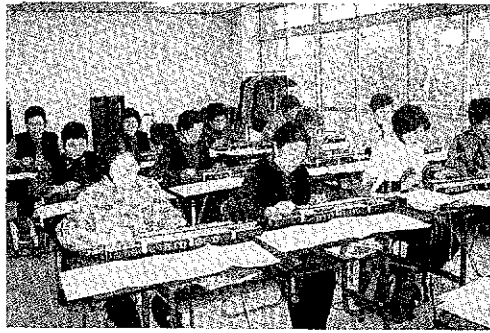
サークル交流

大正琴とともに

三松会 燕

私達のサークルは、大正琴大好きの人達の集まりです。毎月三回練習しています。ほとんど欠席がなくみんな熱心です。大正琴を弾いている時の皆さんの顔は、とても可愛い良顔をしています。

音符は数字符です。左手でボタンを押して右手で弦を弾くので、最初は左右の手のバランスがとれなくて慣れるまで良い音は出ませんが、簡単な曲ならすぐに弾けるようになります。



毎年5月に県民会館で発表会があり、今年も参加する予定です。毎回楽しく緊張しますが、経験とほぐれたいもの、この頃は舞台度胸もついて舞台に出たら頭が真白になって何もわからなくなつた、ということは無くなつたようです。日々の生活の中では経験出来ない緊張感と、演奏が終った時の安堵感、達成感は何ともいいようのない良い気持ちです。これが忘れられないのです。今年も良い演奏が出来よう頑張ろう。

(三松会燕 小幡 京子 記)

生涯学習を旨として

能生町ふるさと学習サークル

本会は発足して十三年目を迎えた。年々会員も増加、現在七十四名となった。各会員のニーズに対応した活動を旨とし、本年度は、特に部の活動を重視していきたいと思っている。主な活動計画として、

1、地域学習部会

四十以上ある町内の集落を数年かけて見て歩き、その集落の歴史遺産や伝承を学習する。ま



拓本講習会

た、町外巡検も一回実施する。本年度は、町内に保存されている古文書の解説会を毎月一回実施。その他、会員の研究誌「翡翠十号」を編集発行する。

3、拓本研修部会
郷土の歴史的遺産の採拓を中心に活動する。

4、能生町見て歩きハンドブックの編集、会員の情報紙「温故知新」を年数回発行等である。探求心旺盛な会員が多く、各会合の参加率もよい。多人数の組織となってきたので、夫々の会員が充実感の持てる活動に、その運営に配慮していきたい。

(能生町ふるさと学習サークル 利根川 晃義 記)

上越市立公民館高田地区館

係員 吉田宏司 さん

公民館の職員は臨時も含めて高田地区館に六人、直江津地区館に四人いる外、十四の分館には各々一人ずつ非常勤職員の協力が配属されている。所管の建物も公民館だけでなく、女性サポートセンター、老人憩いの家の受付業務等十九施設に及び、これにかかる管理、経理等の事務は膨大な量となるが、平成十二年十月に総合防災課



務は膨大な量となるが、平成十二年十月に総合防災課

から異動して来た彼は、役所歴は浅いものの得意のパソコンを駆使して、山の様な仕事を次々と片付けてくれる。一方横に座っている係長の私は、自他共に認めるパソコン音痴のため何をどうすればどうなるのかわからないので、パソコンによる事務は全て彼任せの状態である。又彼は地区館や分館、女性サポートセンターでの事業も担当しており、企画から実施まで担当分館の協力員との仕事振りは、私だけでなく、館全体からも絶大な信頼を受けている。

(同館係長 木澤 和男 記)

素顔拝見

湯沢町公民館

主事 南雲愛子 さん

平成十年四月に採用されて以来、公民館の「向日葵」として周囲の職員を癒してきてくれた彼女も、今年めでたく華燭の典を挙げることとなりました。(名字の変更なし。)



五年目の公民館勤務を迎え、すでにベテランの域に入り、しかも人間として一般社会からいろいろ試されることも多くなるこれからは、公私とも益々責任が重くなるでしょうが、笑顔を絶やさず知恵と勇気を持ち「初心忘るべからず」の精神に立って、充実した日々を送ってほしいものです。

(同館社会教育係長 青山 薫 記)

恵贈資料紹介

第35回欧州社会教育事情視察報告

(社)全国公民館連合会



平成13年11月8日～21日まで、ドイツ、イギリス、フランス、スペインの欧州四ヶ国の社会教育事情視察が行われ、本県からは二名の参加があった。

その視察報告記であるが、本県から参加の内山昭子(大島公民館)さんは、イギリス「プロスペクト・ディ・センター」を訪問して」と題して、施設の概

要、特徴について詳細に報告している。また、宇都宮正人(十日町市公民館)さんは、フランスの「ヨーロッパ最大の職業養



成機関A.F.P.A.を、大局的な視点に立って、制度、支援システム等について報告、記述している。

なお、全体の視察概要報告は、当会月報1月号特集で掲載、紹介済みであるので参照されたい。



恵贈資料紹介

平成13年度

上越の生涯学習

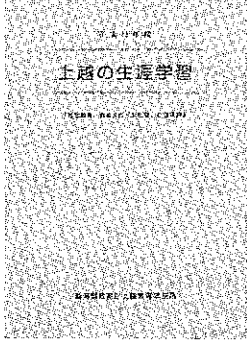
上越教育事務所

今年度も早々に、社会教育から社会体育まで多岐にわたる諸資料が満載された冊子が恵送されて参りました。

ち寄り、手造りの実感が出ております。

また、上越教育事務所で状況調査された(1)市町村別社会教育

とくに、各市町村における社会教育、社会体育行政の現状と評価・課題及び特色ある事業・活動は、毎年興味・関心をもって読ませていただき、公民館月報実践シリーズ等で活用させていただきます。編集・印刷も各市町村の特色があり、持



状況一覧、(2)主な社会教育連携事業は、とても参考になります。中でも(2)の連携については、○広域連携、○首長部局との連携、○各種団体との連携等項目毎に弁別されて、大変理解し易く、そして活用し易くなっています。それでは上越管内くまなく、きめ細かくサポートされるおられるスタッフの皆様のご取組姿勢に敬意を表します。

平成14年度

(社)新潟県社会教育協会通常総会案内

下記のように平成14年度通常総会を開催します。会員の皆様の参加をお待ちしています。当日は、日韓親善に因んで、すばらしい講師をお招きしました。ふるってご参加ください。

記

- 期日 平成14年5月27日(月) 午後1時開会
- 会場 新潟厚生年金会館(新潟市南万代町1-8:新潟駅から徒歩5分) 電話:025-243-3551
- 日程
 - 通常総会(午後1時から)
 - 記念講演会(午後2時30分から)
 - 記念パーティ(午後4時30分から) ※会費4,000円
- 記念講演会
 - 講師 県立新潟女子短期大学国際教養学科講師 超 義成さん
 - 演題 「韓国から見える日本という国～韓国の常識、日本の常識～」
- 問合せ (社)新潟県社会教育協会 TEL・FAX 025-228-2419

あ と が き
◇ 関プロ公連總會、県公連理事・評議員会の開催等、県公連事務局もエンジン全開、準備対応に入っております。

表紙解説

豊浦町総合運動施設

スポーツ活動拠点施設としての、総合運動施設が竣工し、連日アルビレックスや少年サッカーチームが活用し、賑わっております。(豊浦町公民館)

◇ 第43回関プロ大会の開催通知も発送、こちらも軌道に乗っております。大会補助要員として宮下一美さんも事務所入りしたところ。 (鈴木 記)

発行所 新潟県公民館連合会
〒951-8053
新潟市川端町2-9・県林業会館内
TEL・FAX (025)224-6073
発行人 会長 今井昭友夫
編集人 事務局長 鈴木友夫
印刷 第1印刷所
〒950-8724
新潟市和合町2-4-18
TEL(025)285-7161 FAX(025)282-1776
【定価1部150円 年共1,800円】